



目次	
会長あいさつ	1
退職校長会総会報告	1
退職校長会入会状況	1
役員名簿	2
全連退総会報告	2
生き生きライフ	2・3
現職校長会情報	4
題字	安藤好子 (元 名古屋・野立小) 19年度入会
絵	高木喜代美 (元 名古屋・中島小) 25年度入会

会長あいさつ



「愛知はひとつ」

会長

加藤 正躬

昨年度末の総会で、引き続き会長を仰せつかりました。本年度もよろしくお願いいたします。

先日、ある会で先輩の先生が退職後の身の処し方について話してみえました。その先生はいくつかの学校を勤務され、地域の人々に色々お世話になって来たので、完全に退職した後は、自分の住んでいる校区の学校の役に立ちたいと放課後学級のお手伝いをしてみえるとのことでした。そういうえばその先生は、毎朝の児童の登校を見守る活動もしてみえました。

退職して、すぐではないにしても、色々な形で学校とか地域にボランティアとして活動してみえる方のことをよく耳にします。先輩の先生から県退職校長会として学校を応援する活動を考えたらどう

か、ということもお聞きしますが、会報の中で各地区の退職校長会のその種の活動が紹介されており、心強く思っています。

さて、昨年度は、現職の県校長会の組織改編にともない、「愛知はひとつ」を標榜している私ども県退職校長会も少なからず影響を受けました。具体的には、役員・事務局の皆さんのご理解・ご協力で、何とか引き続き名古屋、三河、尾張の三地域がひとつのままで退職校長会を続けることになりました。

今年度も今まで通り会員の交流活動、現職校長会を交えての研修活動、全国および東海北陸の仲間との交流を続けてまいります。

最後に会の報告事項です。この三月に退職された二百三十五名の校長先生方にご入会いただきました。ありがとうございます。おかげで諸経費を納入いただいている会員総数（七年会員）は千六百九十二名になりました。

「愛知はひとつ」のもと、現職校長会とさらなる交流を深めるとともに、各地区の退職校長会の充実を願っています。

平成二十九年度 県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十五日（水）に名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

会の冒頭挨拶で、加藤正躬会長は、名古屋・三河・尾張の三地域の協力の下、愛知県退職校長会の活動を推進することができたことへの感謝の気持ちを伝えられるとともに、本県で実施している七年会員制のよさ、現職の校長会は県・政令市が分離したが、今後も愛知は一つであることを念頭に置き本会の発展に尽くしたい旨を語られました。その後平成二十八年度の事業報告、会計決算報告、会計監査報告、二十九年度の事業計画（案）、予算（案）、会則の改正（案）の審議がなされ、全て承認されました。役員は、二十八年度に続き、加藤正躬会長、吉田文明副会長が再任されました。

会則の改正点

現職の愛知県、名古屋市の分離に伴い、会員に関する条文の改正が行われました。

（旧）（会員）第四条 本会は、愛知県公立小中学校長の職にあつた者をもって組織し、全国連合退職校長会に加盟する。



（新）（会員）第四条 本会は、愛知県内の公立小中学校長の職にあつた者をもって組織し、全国連合退職校長会に加盟する。

平成29年度 愛知県退職校長会 入会状況
(23年度～29年度会員数) H29.7.1現在 (人)

年度 地域	23	24	25	26	27	28	29	計
名古屋	65	68	66	65	61	70	71	466
三河	87	111	86	96	108	77	88	653
尾張	73	91	85	73	83	92	76	573
合計	225	270	237	234	252	239	235	1,692



た。そして、一宮登氏、大久保慎一氏、柴田育郎氏、江本隆氏が新副会長に選任されました。また、大橋勝副会長、内藤俊巳副会長、太田武司副会長、加藤學副会長はじめ、十名の皆様が退任されました。長く本会を支えていただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

会長 (名古屋) 加藤 正躬
副会長 (名古屋) 一宮 登

支部長 (名古屋) 辻 正人
(尾張) 安藤 正紀

常任理事 (名古屋) 坂野 辰男
(尾張) 伊藤 重法

理事 (尾張) 岡田 豊
(名古屋) 加藤 千博

(名古屋) 二宮 英二
(名古屋) 小林 啓子

(名古屋) 寺崎 敏博
(名古屋) 長坂 和哉

(名古屋) 関口 大介
(名古屋) 近藤 真澄

(尾張) 鈴木 栄二
(尾張) 杉 喜久代

(尾張) 金原 宏
(尾張) 伊藤 雅朗

(尾張) 安東 要
(尾張) 伊藤 博

(尾張) 井戸 則夫
(尾張) 永田 淑子

(尾張) 張 森 乙平
(尾張) 鈴木 博志

(尾張) 水越 光久
(尾張) 廣沢 憲治

(尾張) 小口 博則
(尾張) 鈴木 直政

(尾張) 河合 智仁
(尾張) 水野 昌孝

(尾張) 村 良弘
(尾張) 山中 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

(尾張) 張 山 仁
(尾張) 張 山 仁

平成29年度 愛知県退職校長会 役員名簿 (敬称略)

平成二十九年年度 全連退総会報告



副会長
大久保慎一

六月二日、「江戸東京博物館」(東京)において、全国連合退職校長会総会が開催された。本県からは加藤正躬、江本隆一、一宮登、大久保慎一の四名が参加した。



第53回 全国連合退職校長会総会

冒頭、挨拶に立った戸張敦雄会長は、「この四月、文部科学省は平成二十八年年度の『教員勤務実態調査の集計速報値』を発表した。これを受けて、全連退はこれまでの給与特別措置法や教員の超過勤務を命ずることのできる四項目を示した政令等を見直し、教員の労働時間の管理の適正化、給与制度の改善に係る要望や意見を国へ具申していく」と強調した。

また、「平成三十年度の予算要望。『教育の日』の祝日化。さらには、六月一日に出された『教育再生実行会議』の第十次提言内容を精査・検討し、全連退としての考え方をまとめていく」と述べた。

その後、会務報告、決算・監査報告、役員選出、活動目標・事業計画、予算、総会宣言採択と進み、全ての議案が原案どおり可決された。

なお、議事終了後、組織の在り方について意見が交わされた。その中で、加藤正躬会長は、「愛知県退職校長会は、組織の基盤を強化するためにも、県と政令市との分離は考えず、『愛知は一つ』で活動を進めてきた。組織については各県、各地域で事情が異なる。その実情を踏まえて全連退は緩急をつけた組織活動を展開されている。その方向は今後とも保持してほしい」と愛知の姿勢を示した。

◇ ◇

午後からは、銭谷眞美東京国立博物館館長(元文部科学事務次官)が、「新学習指導要領」について講演した。

氏は、今次学習指導要領の方向性について詳説し、「アクティブ・ラーニングの視点による『主体的・対話的で深い学び』が期待される。ただ、深まりを欠くと表面的な活動に陥ってしまう。『深い学び』の視点は極めて重要である。『深まり』の鍵となるものは、各教科等の特質に応じた『見方・考え方』である。教師はこの部分を十分に吟味してほしい」と説いた。

生き生きライフ

母校の発展

23年度入会 白井 正康
(元 豊橋・新川小)

愛知教育大学で七年目を迎える。この三月末に、三年間の理事職を退任し、現在は連携アドバイザーとして週一回程度大学に通っている。

大学での最初の三年間は、教職大学院特任教授として、学校経営や教育施策等を学生と一緒に討論したり、学校現場の抱える教育課題へのアプローチをしたりと、理論と実践の融合に努めてきた。修論指導やフィールドワークを通して、学生が教師又は教師の卵として成長していく姿を実感したときの喜びは、教師冥利に尽きる。

理事になったとき、大学は大きなターニングポイントを迎えていた。「待ったなし」の大学改革である。大学経営に参画して、社会ニーズに応える斬新かつ柔軟な発想力と科学的なエビデンスが重要であることを痛感した。

大学も法人化になって、第三期の二年目を迎える。インクルーシブ教育や学校サポート活動、教員の高度化、附属の在り方など多くの問題が山積している。

おもしろ学校

24年度入会 長屋 勝彦
(元 犬山・犬山中)

創立七十周年を控え、学校と教育行政と大学とのコラボが深まるよう、微力ながら貢献していきたい。

あるテレビ番組で、「今、先進国の寿命は一日五時間というスピードで延び続けている」「二〇四五年には、平均寿命が百歳に到達すると予想される」と報道されたことがあり、ますますと思うものの、ひょっとするとそんな時代が来るのかもしれない。健康な状態で年をとる時代が来るというのは嬉しいことですが、そうなる長い人生、心豊かにどう生きるかという生き方も一層大切になって来るのではないだろうか。

以前、名古屋駅前のAホテルで「おもしろ学校」なる学校を開設しました。教科書に載っていないこと、まだ検証されていない研究分野、あつと驚く新事実、今まで学校では教えてもらったことがない解釈などを教材に、毎月一回、九十分のおもしろ授業を行うというものです。たくさんの方の講師(仲間)に協力してもらいながら、今年で十二年目を迎えました。

人生百歳時代(?)の後半はおもしろ学校を通して、ワ

クワク・ドキドキしながら、多くの人・物・事と関わり、心を豊かに広げていくことが出来ればと考えます。結果として、社会でもお役にたち、人さまに喜んでいただければ幸いです。



平成二十九年度「おもしろ学校」案内チラシ

頼られるうちが

26年度入会 鈴木 博志
(元 名古屋・名城小)

「二階の窓を開けると、焼肉屋の煙が入ってきてしまう。換気扇の向きを変えるよう、お願いしてきて。」

「ひさしの瓦が落ちそう。通行人に当たると大変だから、直すように言ってきた。」

退職後、多くの方と同じように、町内会の仕事が続いてきた。「土日でも部活動などがあった、とても無理」と、消防団などの誘いを断ってきた身にとっては年貢の納め時。昨年度から会長を引き受ける

ことになり、その最初の仕事が行きこつちへ行きと、まるで教頭時代へ戻ったよう。ほかにも0の日や登校時の交通当番、青パト乗車、救命緊急講習会に防犯パトロールと、町内会長の仕事を挙げ出したらきりが無い。

しかし、引き受けてよかったと思うことも多くある。同じ町内に住んでいながら、会釈を交わす程度でしかなかった方々と、いろいろな話がでるようになった。これまで教員の世界だけしか知らない私にとっては、目から鱗ということもよくある。

同居の母が介護認定を受け、海外旅行などは夢のまた夢。頼られるうちが花と、今日も黄色のキャップをかぶり、登校時の交通当番に。

「おじさん、おはよう！」

家庭菜園を楽しむ

27年度入会 山田 光夫
(元 豊田・美里中)

退職してはや三年。日々時間がゆったり流れるのが心地よい。鳥のさえずりに耳を澄ませ、道端に咲く野花に目を留め、夕暮れにそよぐ稲穂を眺めては、季節の移ろいを楽しんでいる。

昨年からは四季折々の野菜を育て始めた。経験のない全くの素人による挑戦である。春

はダイコンやホウレンソウの種をまき、同時にジャガイモの種イモ、トマト、ナス、キュウリの苗を植える。夏はニンジン、ハクサイ…。一年を通して二十種類の野菜を栽培している。肥料はどれを選び、どう施すのか、畝の高さや向きはどうするのか、病害虫被害をどう防ぐのか、育ちを良くするマルチング方法とは。こうした課題に直面するたび、専業農家を訪ね、時には専門書をにらむ。

育てた旬の野菜を家族と一緒に食すほど幸せなことはない。調理方法も広がり、野菜の旨みをこれまで以上に堪能している。来年は、健康野菜や西洋野菜にも挑戦してみようと思う。

今日も朝早くから畑に足を運び、水やりをしながら育ちをチェックする。成長しつつある野菜、収穫期を迎えた野菜から季節の移ろいが見えてくる。これもまた家庭菜園の楽しさである。

土と料理と恩返し

28年度入会 今井 雅良
(元 海部・蟹江中)

退職し、土・日休みの規則正しい生活が始まりました。スケジュールに追われる毎日から自分で予定が立てられる生活へ一変しました。第二の人生を三つの柱で楽しく過ご

したいと考えています。一つ目は、八年前から始めた家庭菜園、少しずつ腕を上げてきたと自負しています。キュウリ、トマト、ナス、ゴーヤ、ピーマンなどの夏野菜が所狭しとひしめきあっています。仕事から帰るや否や裏の家庭菜園へ向かいます。芽かきや土寄せ、土と触れ合う至福のひとつです。

二つ目は、今井家の地産地消。畑で獲れた野菜をたくさん食べられる料理を目指し、鍋やパエリアなど、みんながワイワイ箸をつつきながら食べられる料理を練習中です。三つ目は恩返し。現職中は市町村の皆さんや先生方に助けて頂くことが多かった。

やっと時間に余裕ができ、これまでの恩返しをしていこうと思っています。退職直後、最終勤務地蟹江町の民生委員さんから研修会の講師やシンポジウムの司会の話がいただきました。取り柄はありませんが、講話やコーディネートなど、これまでの経験を生かして、声がかかれば「喜んで」の思いで恩返しをしていきたいと思っています。

自分を見つめ直して

29年度入会 稲熊 和己
(元 名古屋・前津中)

平成二十九年三月三十一日、三十八年間の教員生活に区切

りをつけ、定年退職することができた。四月一日、忙殺された昨日までは打って変わって、仕事上の責任や決裁もなにかの寂しさも感じた。

退職後は、県学校給食会に七月から勤めさせていただく。自由な三か月間を、骨休めの小旅行の傍ら、現職時代の様々な資料を整理するのに思いの外時間がかかった。振り返れば、十か所の職場で実に多くの経験をさせていただいたと再認識した。

教科指導(音楽科)を学んだ附属中や市指導員。管理職としての視野が広がった、多額恐喝事件対応や新設校開校の取組。教育行政を垣間見た市教育センターや指導室。そして、学校経営の中核である校長会組織の重要性を目の当たりにした、県校長会中学校部会長。いずれの役割も、自分の力の及ぶものではなく、日々勉強をさせていただいたというのが正直なところだ。

今、自分を見つめるとき、三十八年間の勉強で、どれだけ成長できたかは、いささか疑問である。しかし、今後は、家族との時間、自分の時間を大切にしつつ、自分なりに成長した力を、何かのお役に立てられたらと願い、肩の力を抜いて人生を送りたい。

現職校長会情報

平成二十九年度愛知県小中学校長会総会が、五月二十二日(月)に日本特殊陶業市民会館で開催されました。稲垣会長は、「子どもたちの未来を拓く校長会」を旨とし、スピリット感を持って課題に取り組み、「と訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。



また、平成二十九年度名古屋市中立小中学校校長会総会が、四月十九日(水)に名古屋教育センターで開催されました。川北会長は、「わかる授業、子どもたちの笑顔など教育への情熱や心意気を忘れずにいたい。市教育委員会はじめ関係諸団体と心を合わせ、全力で取り組もう。」と訴えました。議案の審議・承認、活動方針の採択がなされました。



平成29年度 役員一覧

愛知県小中学校長会	副会長	稲垣 寿(西尾小)
〃	〃	高田 和明(高野南小)
〃	〃	酒井 敬(豊南小)
〃	〃	坂部 良二(前山小)
〃	〃	野木 広(岩倉小)
〃	〃	中谷 眞人(小浜小)
〃	〃	井上 正英(小坂小)
〃	〃	松村 光洋(師勝小)
〃	〃	高橋 篤(青山小)
〃	〃	吉野 嘉郎(黒笹小)
〃	〃	加藤 博之(若園小)
〃	〃	澤田 豊喜(稲沢西小)
〃	〃	勝田 拓真(本山中)
〃	〃	岩井 伸江(西山小)
〃	〃	鶴飼 洋一(葵平小)
名古屋市中立小中学校長会	副会長	貴之(名城小)
〃	〃	一夫(白鳥小)
〃	〃	山内 裕一(城山中)
〃	〃	上井 敏之(山吹小)
〃	〃	伊藤 久仁(笹島小)
〃	〃	坂野 幸彦(丸の内小)
〃	〃	森 久晃(栄小)
〃	〃	伊藤 正男(山王小)
〃	〃	早川 稔(城西小)
〃	〃	新井 孝一(富士小)
〃	〃	牛田 宏法(東桜小)
〃	〃	山岡 宏昭(川名中)
〃	〃	稲田 雅俊(守山北中)
〃	〃	康隆(大森中)

「愛知県小中学校長会」と「名古屋市中立小中学校長会」は、政令指定都市への権限移譲に伴い、本年度から分離をしました。このことについては、平成二十七年年度の総会において承認され、その後、三地区(名古屋・三河・尾張)の校長会とともに協議を重ね、平成二十八年年度の総会で、必要な規約改正について、審議し承認されました。

全県での協力体制は今後も維持をしていきたいという願いの中で、「愛知県小中学校長会」と「名古屋市中立小中学校長会」の分離に伴う「覚書」が作成されました。

「覚書」の概要は、次の通りです。

「愛知県小中学校長会」と「名古屋市中立小中学校長会」は、平成29年4月1日から分離するにあたり「覚書」を交わしたので、ここにその概要を示す。

覚書(概要)

- 1 新し連携のあり方
(1) 県内の義務教育の振興を図るため「愛知県・名古屋市中立小中学校長会 代表者会」を設置して連絡を密にする。
- (2) 「愛知県小中学校長会」と「名古屋市中立小中学校長会」の総会については、互いに来賓としての出席を要請する。
- (3) 総会後の教育講演会は、「愛知県・名古屋市中立小中学校長会 合同研修会」とし、「名古屋市中立小中学校長会」の会員も参加し、愛知県・名古屋市中立小中学校長会に共有を図る。
- (4) 各専門委員会・部会については、「愛知県小中学校長会」「名古屋市中立小中学校長会」それぞれが計画運営し、必要があれば、随時集まり情報交換及び協議を行う。進路委員会、修学旅行特別委員会、東陸小特別委員会、東陸中特別委員会、記念誌編集特別委員会、「愛知県小中学校長会」と「名古屋市中立小中学校長会」より委員を出し、合同で行う。
- 2 対県外へのかかわり方
(1) 対県外(全連小・全日中等)の名称については「愛知県・名古屋市中立小中学校長会」の名称を使用する。
- (2) 対県外の窓口は「愛知県小中学校長会」の事務局とする。
- (3) 全連小、全日中、東陸小、東陸中の活動については、愛知県を単位として合同で取り組む。

その際、理事等の役割分担や愛知大会の担当等は、愛知県・名古屋市中立小中学校長会代表者会」で協議する。

(4) 教育関係諸団体への役員派遣については「愛知県・名古屋市中立小中学校長会代表者会」での協議に基づいて分担し、委嘱を受ける。

計報(一)内はご逝去された日

新海 弘康先生(三九・一・二七)
元 豊明市立栄小学校校長
近藤啓二郎先生(三九・二・六)
元 田原市立堀切小学校校長
白井 康司先生(三九・四・一七)
元 豊川市立八南小学校校長
窪田 真澄先生(三九・五・二〇)
元 名古屋市中区立天字小学校校長
今川 清先生(三九・六・六)
元 西尾市立福地中学校校長
ご逝去されました先生方のご冥福をお祈りいたします。

尚本会より、弔電にて弔意を表させていただきます。平成二十八年十二月二十六日から平成二十九年六月二十日までにご逝去され、事務局に報告があった七年会員の方を掲載しました。

事務局だより

ご多用の中を、原稿執筆にご協力くださいました多くの皆様に感謝申し上げます。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

この度の会報36号は、現職校長会情報に紙面を多くとりましたので、会員交流広場(会員の作品紹介)は、お休みをさせていただきます。ご了承ください。

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目
四九番一〇号

愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
TEL 〇五二二六一一八・一五二
FAX 〇五二二六一一八・〇七
E-mail: ai-kocho@axel.ocn.ne.jp